

## 第4回阿波おどり未来へつなく実行委員会 議事録

日時：令和4年6月24日（金） 14時～16時

場所：シビックセンターさくらホール（徳島市元町1丁目24番地アミコビル4階）

出席者：委員24名 監事1名 オブザーバー3名（内オンライン参加6名）

### 【開会】

### 【議事】

#### (1) 第1号議案

（事務局説明）

○チケット一般販売について

- ・7月1日10時からインターネット、コンビニエンスストアにおいて阿波おどりチケットの全国一斉発売の準備を進めている。
- ・感染症対策により、当日は販売所を設置しないが希望観覧日当日の残席があればチケットぴあ、セブンイレブンにおいて購入可能である。

（杉原委員）

- ・アミコの地下にある観光案内所で直接当日券を買えるようにはならないのか。

（事務局）

- ・現在観光案内ステーションの工事をしており、8月上旬にはアミコの1階に移転する予定で、今回は対面販売所は設けず、コンビニエンスストアで当日まで販売する予定としている。

（立川委員）

- ・1回目の会議の際に、収容率について舞台は100%、桟敷は60%程度ということだったが、変更はあるか。

(事務局)

- ・一定の間隔を確保した上での配席としており、機敷は約75%程度の座席数を確保できる見込みとなっている。

(寺内実行委員長)

- ・議事1について事務局案のとおり承認することにお諮りしたい。

(一同了承)

(寺内実行委員長)

- ・賛成多数であるため、原案どおり進めることとしたい。
- ・現時点の感染状況を踏まえ、モデルAでの開催準備を進めるとともに7月1日からチケットの一般販売を開始する。
- ・開催判断に大きく関わるが、7月下旬に予定している機敷等の設営開始の判断については、実行委員長に一任としてよろしいか。

(一同異議なし)

(2) 第2号議案

(事務局説明)

○新型コロナウイルス感染症対策実施マニュアルについて

- ・マニュアル案は徳島大学病院の東委員に監修いただき、第3回実行委員会において示した基本方針、対策すべき事項をまとめたものである。
1. このマニュアルの対象者は本事業に参加する、運営スタッフ、踊り手、観客、記者カメラマンなど報道機関の4者となる。
  2. 観客を除く全ての対象団体は、衛生管理担当者を定めて、実行委員会事務局に届け出をし、衛生管理担当者が中心となって感染症対策の周知徹底を図る。感染疑い時や感染発生時においても、衛生管理担当者が中心となり個人情報の取り扱いに留意しながら実行委員会と情報連携を行う。
  3. 参加する事業者単位、踊り連単位で体調管理を行うため、開催の2日前から開催後10日間の毎朝決まった時間に検温し、パナソニックの健康管理アプリ「OND' U」

に体温を入力していただく。踊り連は練習時から体調管理を行う。このアプリにより衛生管理担当者を中心として、グループ単位でメンバーの日々の体調把握が可能となる。

4. 陽性者が出た場合や、複数の体調不良者が連続して発生した場合等は、衛生管理担当者から速やかに主催者に報告していただく。感染が確認された場合は保健所等の指示に従って対応し、状況に応じては事業者単位で参加を中止する。
  - ・マニュアルをもとに熱中症対策を講じながらの感染症対策となるが、本マニュアルを遵守していただくようお願いする。

(杉原委員)

- ・コロナに関してはこのマニュアルで良いと思うが、熱中症を含めて、突然の病人や怪我人が出た際、交通規制がかかっているため緊急搬送が難しいと思う。そのあたりの対策はどうなっているか。

(事務局)

- ・各演舞場には看護師を配置し、看護スペースを設ける計画としている。救急の対応については消防局、警察等と連携し、十分迅速な対応ができるように努める。

(桐本委員)

- ・消防局としても阿波おどり期間中の、交通規制がかかっている時間帯については消防、救急体制を強化している。
- ・栈敷の近くに救急車を配置し救急隊が即応できるようにするとともに、職員の巡回警戒も行う。栈敷にも職員を配置し、急患の対応など支援できる体制をとる。

(山田委員)

- ・昨年振興協会としては各連長に周知をしながら、OND' Uを取り入れ1日1回報告をもらっていた。今年もそのような形でいいのか。

(事務局)

- ・衛生管理担当者については、連の中で1人を設定していただき、衛生管理担当者の役割を担っていただく。

(山田委員)

- ・事務局と24時間体制で連絡が取れるような方法をもう少し確認していただき周知徹底していただければと思う。

(寺内実行委員長)

- ・議事2についてお話ししたい。

(一同了承)

## 【報告事項】

(事務局説明)

### ○報告事項1、クラウドファンディングの実施について

- ・クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」において、7月1日金曜日からクラウドファンディングを実施する。
- ・返礼品は公式ポスターデザインのポストカードやオリジナルマフラータオル、オリジナルTシャツなどを用意する予定である。資金の使い道は、2022阿波おどりの開催資金の一部として活用する。
- ・これまで企業からのご協賛を多くいただいているが、クラウドファンディングにより個人の皆様からもご支援を受け入れることが可能となる。
- ・公式ウェブサイトや徳島市のSNS等を活用し、積極的に周知していくが、1人でも多くの支援を集めるために、委員の皆様方にもこのプロジェクトの拡散をお願いしたい。

### ○報告事項2、各種協賛の状況について

- ・各演舞場等のネーミングライツパートナー企業が決定した。

- ・南内町演舞場については募集期間中に応募がなかったが、株式会社新宝島ホールディングス様から標記の金額で相談をお受けしており、協議の結果パートナー企業と決定した。
- ・6月23日時点での各種協賛の状況は、基本協賛72口、見物ガイド33口、うちわ30口、スタッフ Tシャツ12口となっている。
- ・基本協賛については、7月22日まで受け付けている。これまで演舞場内に掲示していた広告看板の代えて、協賛いただいた企業様の名称やロゴを一覧で表示した看板を会場内10ヶ所に設置する。

#### ○報告事項3、踊り連について

- ・阿波おどり振興協会及び徳島県阿波踊り協会に所属する連については、現在両協会を通じて出演の順番を決める協議を進めている。
- ・有名連以外の優先連として、直近の阿波おどりにおいて有料演舞場等への申し込みを行った企業連等約200連は電話で参加意向等の調査を行い、約60連から参加の意向をいただいております、今後演舞場への張り付け作業を行う予定である。
- ・新町橋演舞場やおどり広場へ参加する一般連については、7月上旬に申し込みの募集及び受付を行い、張り付け作業を行う予定である。

(杉原委員)

- ・クラウドファンディングの周知のためのポスターやチラシ等の配布はあるか。

(事務局)

- ・チラシ作成を予定している。  
周知方法としては、CAMPFIRE のウェブサイトと実行委員会の公式サイトからのお知らせ、各種 SNS などでの拡散を計画している。

(近藤委員)

- ・クラウドファンディングは予算に組み込まれていると思うが、達成できなかった場合は大丈夫なのか。

(事務局)

- ・ 目標金額の達成がプロジェクトの条件とはなっておらず、プロジェクトの達成・未達成は関係なく、ご協賛いただいた部分でプロジェクトを進めていくこととなる。

(山田委員)

- ・ にわか連について、現時点で決定されている部分を報告して欲しい。

(事務局)

- ・ にわか連の現在の検討状況について、開催場所は新町橋の無料演舞場を想定している。時間はまだはっきりと決まっていないが、毎日2回開催の方向で検討している。感染症対策なども含め慎重に進めていきたい。

(杉原委員)

- ・ 阿波おどり期間中の飲食店、駐車料金の値上がりが昔からの問題だと思う。
- ・ 飲食店の値上がりは卸元が阿波おどり期間中に動いてないため、経済の流通上仕方がないというご意見もあった。
- ・ 駅周辺や佐古周辺の駐車料金は高くなり過ぎている。行政で値上げを抑えられないか、または組合等々があれば自主規制をかけるべきではないか。

(山田委員)

- ・ 以前県の観光協会の会議に参加した際に、お盆の繁忙期のホテル代の設定が高すぎる旨を指摘した。
- ・ 以前は学校や公園において、地域のコミュニティ関係の人たちが臨時駐車場の管理を行っていただいていたが、それが廃止となり、金額は逆に上がり、支出が増えて便利が悪くなった。
- ・ 地域の学校関係などに協力事業者として、もう1度お声掛けをし、周辺の駐車場対策を行う必要があると思う。
- ・ 宿泊料金が繁忙時期に1~2割値上がりするのは納得できるが、通常料金の3~4倍になるのはホテル業協会などの組合の中で規制した方がいいのではないか。

- ・次年度以降、実行委員会に企業、団体など踊り込みも兼ねて県外の方から申し出があった場合に、規約を守る業者を優良ホテルや優良旅館として、実行委員会にて宿泊施設の斡旋を行うのはどうか。

(森浦委員)

- ・以前は徳島市旅館組合から組合員に対してお客様から苦情がないよう対応してくださいと周知していた。今年度も考えたい。
- ・旅館業界もいろいろ問題があるが、良心的な値段で対応するよう組合員に周知していく。
- ・駐車場の問題については、事務局に学校などと交渉していただけるといいと思う。早いうちに公表していただき、臨時駐車場の数量もできたらお願いしたい。

(寺内実行委員長)

- ・最近色々なものが値上がりしており、ホテル業界も大変だと思うが特別料金というような形はやめていただけたらと思う。

(立川委員)

- ・従来街の中で阿波おどりを盛り上げていただいていた方がたくさんいる。そういった方たちへの対応や、交通規制がかかる中で栈敷がない場所での踊り子、観客の取り扱いをどのように考えているのかをお伺いしたい。

(事務局)

- ・今年の夏の阿波おどりの考え方として、感染症対策にも十分配慮した上で開催しなければならないという前提があり、いきなり踊りが（街中で）始まるのは感染症対策や雑踏の管理の面からも難しい。
- ・現在、主催者として一定の踊りエリアのようなものを設けることを検討している。

(立川委員)

- ・現状踊れる場所が栈敷しかなく、自分たちが踊る場所があるのかと悩んでいる方が非常に多い。踊る場所を検討していることを伝えるだけでも、人が集まり、連を活性化させるためにも（実行委員会の）言葉として出して欲しい。

- ・踊り広場を含めて栈敷の数はそのまま数を減らさずいくのか。

(事務局)

- ・現在はプランAでの開催を進めているため、踊る場所は減らさない方向である。

(山田委員)

- ・例年栈敷以外でも街角などで踊りだけでなく、パフォーマンスもやっていた。踊り子もある程度決まった範囲で踊っていたため、その辺りを感染症対策で踊れないように規制することはできないと思う。

感染症対策と反比例するが、この辺りは阿波おどりを開催するのであれば、避けて通れないところではないか。警察関係にも助けていただき、パトロールなどを行いトラブルが起こらないようにしていくしかないのではないか。

(杉原委員)

- ・感染症対策マニュアルの対象の中に踊り手が入っている。栈敷で踊る有名連だけが規制されるのであれば全体のコロナ対策になっていない。

栈敷以外で踊る人に対しても、これは共有すべきだと思う。感染対策マニュアルに対応してくれる連だけ募集しなければ、結局感染対策は無駄になると思う。

一般公募する際に感染対策マニュアルを守っていただくよう条件を付けるだけでいいのではないか。

(寺内実行委員長)

- ・このマニュアル通りにできるのであれば、一般の踊りたい人も入れるべきだと思う。

(立川委員)

- ・連として活動しているところはこれが該当してくると思うが、連以外の方が街中で踊ることにどう規制していくのか。交通規制がかかった道路で踊っていいのか、駄目なのか。

- ・人が飲食する中で、踊り子と動線も交わってくると思うが、連だけでなく街中で踊る人のことを考えると道の使い方としてどうかと思う。その辺がうやむやになった



ら、感染対策のガイドラインは全く機能しなくなる。であればもう規制するかしないかどちらかだと思う。

(山田委員)

- ・全国的にコロナ対策について呼びかけはできても規制はできないと言われている。観客全員を管理するのは不可能で規制するかしないかどちらかではないか。

(杉原委員)

- ・クラスターが発生したらどうするのか。

(立川委員)

- ・ 桟敷に入らず街中だけで踊る連もたくさんいる。参加申し込みをしてもらい、感染対策マニュアルを周知し登録した連で踊っていただくことはできると思うが、街中での活動の仕方をどう判断させるのか。
- ・ 以前は街中でいろんな連の輪踊りがあったが、今年街中を規制した場合に、飲食はよくてなぜ踊るのはダメなのか、そういう議論になってしまう。お酒が入り盛り上がったなら誰が踊りに入っているか分からないと思う。そういったことも考えて、参加のあり方を連や個人に対して周知させるべきだと思う。
- ・ マニュアルがあっても連にしか浸透してなければ何の意味もない。「こんな対策をしています。」「マスクしてください」「踊りは間隔を空けてみてください」と街全体で周知しながらでない伝わらない。
- ・ 動線なども実際に連員から言葉で上がってくるから質問をしている。そういったこともしっかり話をしてもらわないとなかなか不安が拭えない。不安の中踊らなければいけない。
- ・ マニュアルを作っても、もし感染者が出たらどうするかなどの話になってしまうので、その辺はもう少し煮詰めてもらいたい。申し込みした参加連ありきの阿波おどりになってきているのではないか。

(事務局)

- ・マニュアルの対象者は阿波おどりに参加される全ての方が対象となっており、マニュアルを踏まえた感染症対策をご理解いただき参加していただくことが今年の阿波おどりの趣旨である。
- ・規制エリア内の移動経路などについては現在警備会社も含めて検討中である。動線などももう少し煮詰めていく部分はあるが、色々な方法を考えていきたい。
- ・踊る場所について、自然発生の踊りは難しいと思うが、主催者として一定のガイドラインなどを検討したい。

(近藤委員)

- ・栈敷のネーミングライツが安いと思った。栈敷の数も減っているため値上げしていると思うが、どのように金額を設定されたのか。収支計画においてPRの支出が少なく感じたので、全体の収入を増やす必要があると思う。
- ・ネーミングライツは宣伝効果も高く、スポンサー企業の徳島に対する帰属意識の高まりなどもあると思う。実行委員会側もその場所の価値はしっかり伝えた方がいい。
- ・ネーミングライツで収入を増やし、もう少し PR にお金をかけることも今後の収支計画に含ませてもいいと思う。

(杉原委員)

- ・以前徳島市観光協会があったときに、観光大使を毎年2名全国に派遣していた。以前は一般の大学生だったが、そこを有名連の踊り子さんが実際に踊ってもらえたら宣伝効果はとても高いと思う。踊り連からのご協力も得られないかなと思うが、いかがでしょうか。

(事務局)

- ・観光大使については、当時の徳島市観光協会の方で募集して派遣していたが、現在徳島市では観光大使は募集していない。今後何らかの形で観光大使ができる方法を検討していきたい。

(西岡委員)

- ・今年阿波おどりが開催されるのかという声をよく聞く。  
全国にアピールすることも大切だが、まず地元が盛り上がらないといけないと思う。

ポスターを地元のお店に貼ってもらうようお願いしているのか。また、欲しい人は希望すればもらえるのか。

(杉原委員)

- ・ポスターについて、県の商店街振興組合連合会としてはポスターの貼り出しを推奨しているが、ポスターのサイズが大きすぎて貼りにくく、小さい方しか貼れないという声をよく聞く。

(事務局)

- ・来年以降、阿波おどりの規模も戻ってくると思う。その状況も踏まえて新しい広報の展開を検討していきたい。
- ・ポスターについては、徳島市にぎわい交流課などでお渡ししている。また、過去にお送りした実績のある来庁者や飲食店よりお問い合わせを頂いたりもしており、郵送やお渡しで対応している。サイズは今まで作ってきたサイズと同じだが、今後検討したい。

(中村委員)

- ・県協会との話し合いはどうなったのか。

(事務局)

- ・徳島県阿波踊り協会については、第3回の実行委員会でご説明させていただいた状況と変わらず、(実行委員会への)参画はできないというお返事をいただいている。

(越後委員)

- ・県協会の所属連も出演する方向で話は進んでいるのか。

(事務局)

- ・徳島県阿波踊り協会より、実行委員会には参画できないが今年の夏の阿波おどりに参加する旨のお返事を頂いている。

(中谷委員)

- ・無料棧敷とおどり広場の席の配置方法について今考えられているところを教えてください。

(事務局)

- ・現状チケットを発行するような運用は考えていない。入場者の管理ができる方法を現在検討している。

(中谷委員)

- ・当日会場での整理、運用になるようなイメージなのか。

(事務局)

- ・当日の状況にもよるが、事前に運営方法などを検討して形にしておく。

(中谷委員)

- ・当日並んだ順などでは感染症対策の上でも大変だと思うので、何か方策を持って運営していただきたい。

(山本委員)

- ・今年の夏の阿波おどりの人出の想定数について。臨時列車や高速バスの増便などを計画しているが、実際どれぐらいの人出があるのか非常に不透明で計画を立てる上で不安が募っている。
- ・実行委員会の中で臨時駐車場の確保やシャトルバスの運行計画を立てる上で前提となった来訪者の想定数があればお伺いしたい。
- ・人出の発表について、観光客の基準やデジタルデータを基にした積算など色々な方法があると思うが、今回はどのような基準で発表されるのか。

(事務局)

- ・臨時駐車場の規模については過去の実績を踏まえて検討している。
- ・人出については数字や過去の実績などはっきりしたものは現在持っていない。

(楠委員)

- ・団体チケットの締め切りが終わり、入金も済んでいると思うが、現時点での団体チケットはどれぐらい売れているのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・団体申込の状況については現在集計中である。

(京野委員)

- ・今答えが出ないのであればいつ頃出るのか。次回実行委員会を開催するときには分かるのか。
- ・事前の予約状況による指標を考えていると思うが、その予想がつくと思われるのが大体いつ頃か教えて欲しい。

(事務局)

- ・各施設の予約状況などについては現状把握できていない。調べられる範囲で確認を進めたいが、いつその状況が取りまとめられるかはお答えできない。
- ・団体の状況については一般販売までには一定整理がつくと思われるため、分かり次第、委員の皆様にはメール等々でご連絡を差し上げたい。

(鈴木副実行委員長)

- ・事務局の方で色々なことを並行して準備を進めており、ここではっきりとお答えできない、検討中というような答えしかできない部分もたくさんある。  
ここで不確定な数字や内容を事務局からお話することで言葉だけが独り歩きをして、報道されたりしてしまうため、この段階でお答えできないことがたくさんあるということをご理解いただきたい。
- ・感染症マニュアルについては、事務局として東先生のご指導のもとで非常に力を入れてしっかりと作った。

- ・ 本日の実行委員会後においても色々なご意見などいただけたらと思う。

(森浦委員)

- ・ 例年学校や公園などで臨時駐車場があったと思うが今年は無いのか。2~3ヶ所はあった方がいいと思う。学校などと交渉していただきたい。

(事務局)

- ・ 現在各駐車場の設置・運営に向けて調整している。設置できる方向で考えているが、過去の阿波おどりにおいて設置していた6ヶ所の駐車場全てで設置できるかはまだ調整段階である。何ヶ所か駐車場を設置できるように準備を進めている。

(越後委員)

- ・ にわか連に参加した人から、うちわや提灯がかっこいい。次はチャレンジしてみたいなどとよく聞かすが、なかなか(踊りを)教えてもらえる機会がない。1つの観光コンテンツとして出していくのはどうか。

(事務局)

- ・ いただいたご意見を参考にさせていただきたい。

(寺内実行委員長)

- ・ まだまだご意見があるかと思うが、事務局においてご意見を踏まえて煮詰めていきたい。
- ・ 本日の会議については以上とする。

**【閉会】**